

[熊本 S. J. C. D. 例会 抄録]

演題 Short Implant の可能性

演者名 川口 孝

日付 2006 年 7 月 25 日

Key Word

1. Short Implant,
2. Bone stress
3. Implant stress

抄録

インプラント治療において、これまでは、できる限り長いサイズのインプラントを選択することが、EBM とされてきた。そのため、例えば上顎臼歯部に十分な高さがいない場合、sinus lift 等の外科処置を施術後、10～13mm以上の長いインプラントを植立してきた。

一方、長いインプラントの優位性を裏付けるデータは全て machine surface のものであり、最近の論文(2003 年)によれば、サンドブラスト表面のタイプであれば、長さ5～6mmのインプラントでも構造力学的に問題ないとの研究結果も出ている。

今回はいくつかのケースを通じて、Short Implant の可能性について考察する。